

ご使用前の準備

■ 電源の準備

MDP-5は電源として、電源アダプターが乾電池を使うことができますが、基本的には付属の電源アダプターをご使用になることをおすすめします。

・家庭用コンセントから電源をとるときは

付属の電源アダプターPA-D09(または指定の電源アダプターPA-3B、PA-3C)をご使用ください。電源アダプターのDCプラグを本体リアパネルのDC IN端子に差し込んでから、電源アダプターのACプラグを家庭用(AC100V)コンセントに差し込みます。

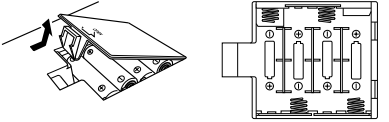
① 電源アダプターは、必ず付属/指定のものをお使いください。他の電源アダプターを使用した場合、故障などの原因となり、大変危険です。

② 電源は必ずAC100Vを使用してください。

③ スイッチが「STANDBY」の状態でも微電流が流れています。長時間使用しないときは必ず電源アダプターを抜いてください。

・乾電池を使うときは

- ① MDP-5を裏返し、電池プタをはずします。
- ② 市販の乾電池(単3乾電池 アルカリ電池推奨)を4本入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。
- ③ 電池プタを閉めます。



④ ノート 乾電池が入っていても、電源アダプターが接続されると、自動的に電源アダプターから電源が供給されるようになります。

⑤ ニッケル水素電池やニッカド電池などの充電式電池は使用しないでください。充電式電池を使用すると、本体が正常に動作しないことがあります。

乾電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音量が小さくなったり、音質が劣化したりします。このようなときは、以下のことに注意して乾電池を交換してください。

① 乾電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのおそれがあります。

② 乾電池は一度に全部を交換してください。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品が異なるものなど)と一緒に使用しないでください。発熱、発火、液漏れの原因になります。

③ 長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いてください。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

・各接続機器の電源を入れる場合

MDP-5と必要な機器の接続(下記「外部機器との接続」参照)が完了したら、MDP-5と外部オーディオ装置のボリュームが絞られていること(Oになっていること)を確認し、MDP-5→外部オーディオ装置の順で電源を入れてください。

また、電源を切る場合は外部オーディオ装置のボリュームを下げ、逆の順番で切ってください。

■ MDP-5の電源を入れる

① 電源をオン/オフするときは、スピーカー保護のため、必ずMDP-5のボリュームと接続先の外部オーディオ装置のボリュームを下げてください。

[STANDBY ON]を[ON]にセットします。

→電源が入り、画面に表示が現れます。

電源を切るときは、[STANDBY ON]を[STANDBY]にセットします。

→ディスプレイの表示が消えます。

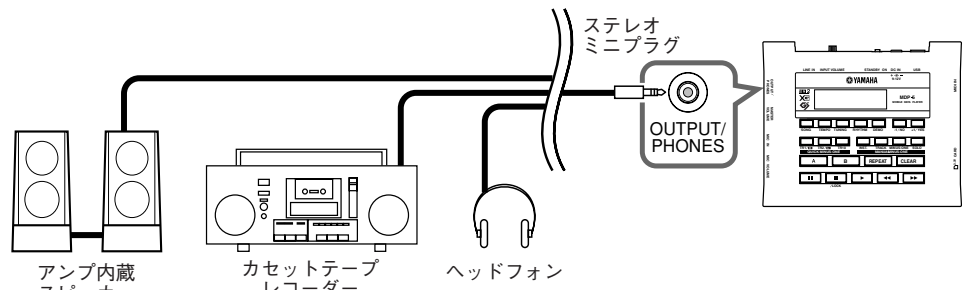
② MDP-5の電源を入れたまま、電源アダプターのDCプラグを本体から抜かないでください。

外部機器との接続

① 外部機器と接続するときは、すべての機器の電源を切った状態で行ってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(O)にしてください。感電または機器の損傷のおそれがあります。

再生音を聞く

MDP-5にはスピーカーが内蔵されていません。音を出すためには、ヘッドフォンやアンプ内蔵スピーカーなどとの接続が必要となります。ヘッドフォンをお使いになれば直接音を聞くこともできます。

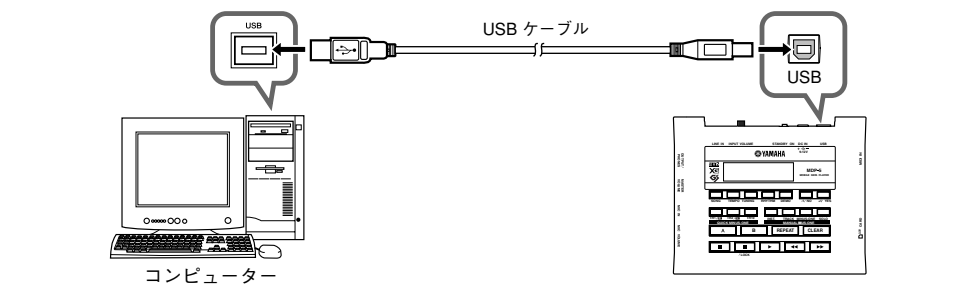


④ ノート ・ステレオスピーカーなどに接続したときは、MDP-5の音量は中位の位置にして、ステレオ/スピーカー側で音量を調節してください。入力音のボリューム調節のないクラビノーバなどの電子楽器に接続したときは、MDP-5側で音量を調節してください。・オーディオ接続コード及び変換プラグは抵抗のないものをお使いください。

ソングをスマートメディアに書き込む

④ ノート コンピューターと本体を接続してデータの送受信を行なう場合は、付属/指定の電源アダプターをお使いください。

付属のUSBケーブルを使ってコンピューターのUSBポートとMDP-5のUSB端子を接続します。

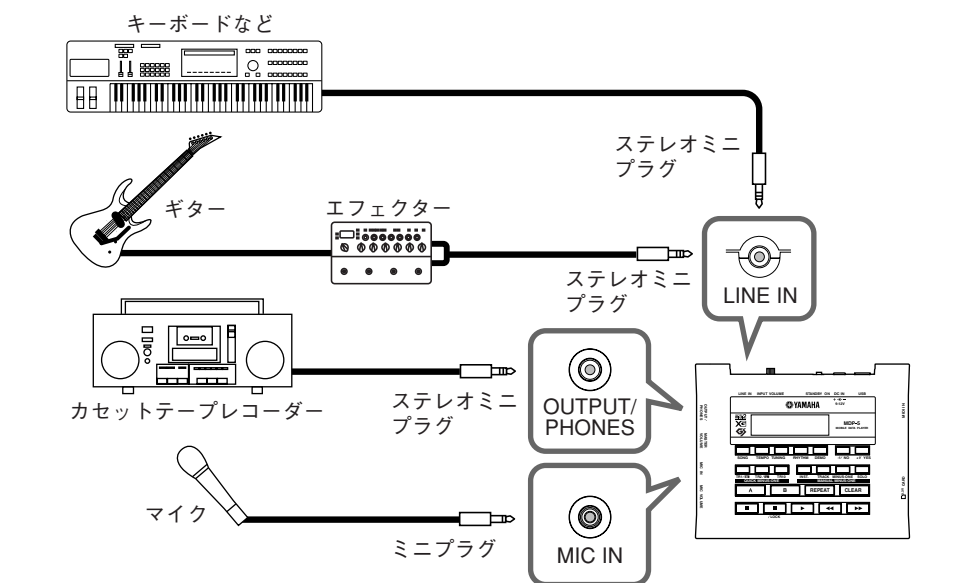


MDP-5でこんなことができます

④ ノート ・コンピューターでMIDIを扱う場合、お使いのコンピューターや目的にあったMIDIアプリケーションソフトウェアが必要となります(別紙「インストールガイド」参照)。
・USB端子を使うときは、MIDI IN端子は無効となります。
・MDP-5とコンピューターをUSBケーブルで接続する場合は、必ずUSBケーブルを接続してからMDP-5の電源を入れてください。また、USB MIDIを扱うアプリケーションソフトが立ち上がった状態で、MDP-5の電源を入れたり切ったりしないでください。
・MDP-5はUSB接続後しばらくしてから通信を開始します。
・送受信できるデータはMIDIデータのみです。オーディオデータは送受信しません。
・市販のスマートメディアドライブを使ってソングをスマートメディアに書き込むこともできます。

カラオケをする/楽器演奏をMDP-5で再生する

MDP-5と市販のマイクを接続してカラオケをすることができます。また、MDP-5と楽器を接続すれば、ご自分の演奏をMDP-5で再生することもできます。さらにカセットテープレコーダーを接続すれば、ご自分の歌や演奏を録音することもできます。[LINE IN]に接続した楽器などの音量は[INPUT VOLUME]、マイクの音量は[MIC VOLUME]で調節します。



④ 本体に入力する際は、出力側の音量をご確認ください。出力側の音量が大きすぎると、本体が故障するおそれがあります。

外部MIDI機器でMDP-5をコントロールする

市販のMIDIケーブルを使ってMDP-5のMIDI IN端子と外部MIDI機器のMIDI端子を接続すれば、外部MIDIキーボードなどでMDP-5内蔵のXG音源を鳴らしたりすることができます。

④ ノート MDP-5の音色配列について

MDP-5は「GMシステムレベル1、2」「XG」「GS」の音色配列に対応していますが、パネル操作で音色配列を切り替えることはできません。MIDIデータ中の「GM ON」「XG ON」「GS ON」のメッセージにより切り替わります。MIDIデータ中これらのメッセージがない場合は音色配列が切り替わりませんのでご注意ください。

メロディパート(メインパート)を自分で演奏してみましょう

ソングをスマートメディアに書き込む

④ スマートメディアの扱いについては、裏面の「スマートメディアの取り扱いについて」を参照してください。

④ ノート MDP-5では、演奏データ(MIDIデータ)を総称して「ソング」と呼んでいます。

1 MDP-5の電源の準備をする

本紙「ご使用前の準備」の「電源の準備」を参照してください。MDP-5の電源はオフのままにしておきます。

④ ノート コンピューターと本体を接続してデータの送受信を行なう場合は、付属/指定の電源アダプターをお使いください。

④ ノート ソングをMUMAからダウンロードした場合 MDP-5の電源の準備をし、リアパネルの【STANDBY ON】で電源を入れたあと手順5→手順7の順に操作してください。

④ ノート MUMAとは ヤマハ独自のミュージックデータ店頭販売システムです。

2 付属のソフトウェアをインストールする

付属のCD-ROMに入っているソフトウェアをコンピューターにインストールします。

インストール方法は、別紙の「インストールガイド」を参照してください。

3 MDP-5とコンピューターを付属のUSBケーブルで接続し、MDP-5の電源を入れる

接続方法は、本紙「外部機器との接続」の「ソングをスマートメディアに書き込む」を参照してください。

MDP-5とコンピューターをUSBケーブルで接続したら、MDP-5リアパネルの【STANDBY ON】で電源を入れます。

4 ハードディスクにソングをダウンロードする

インターネットのホームページから、ご自分のハードディスクにソングをダウンロードします。

ソングは、下記のホームページなどからダウンロードすることができます。

音楽データショップ

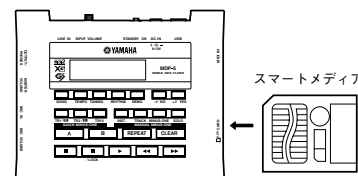
<http://www.music-eclub.com/musicdata/>

④ ノート MDP-5で再生できるデータの種類の

MDP-5で再生できるデータは、SMF(スタンダードMIDIファイル)フォーマットのデータだけです。SMFフォーマット1のデータやオーディオデータは再生することができません。SMFフォーマット1のデータは、付属ソフトウェアのカードファイラーを使ってフォーマット0に変換することができます。

5 付属のスマートメディアをMDP-5に差し込む

スマートメディアの端子部(金色)を上向きにして、カードスロット(挿入口)に差し込みます。



6 ダウンロードしたソングを、スマートメディアに書き込む

手順2でインストールしたカードファイラーを使って、ご自分のハードディスクにダウンロードしたソングをスマートメディアに書き込みます。カードファイラーの使い方について詳しくは、カードファイラーに付属のPDFマニュアルをお読みください。

④ ノート ・MDP-5がカードファイラーとの通信状態に入ると、MDP-5の画面に「CardFiler Mode」が表示されます。MDP-5がカードファイラーとの通信状態にあるときは、スマートメディアを抜き押ししないようにしてください。
・MDP-5がデモ曲再生モードにあるときは、カードファイラーとの通信状態に入ることができません。カードファイラーを動作させるときは、必ずデモ曲再生モードから抜けてください。
・MDP-5とカードファイラーとの通信中に、なんらかの原因でMDP-5とコンピューターを接続しているケーブルが抜けるなどして接続が切断されると、MDP-5は通信状態から抜けることができなくなってしまいます。このような場合は、MDP-5の電源を入れなおしてください。

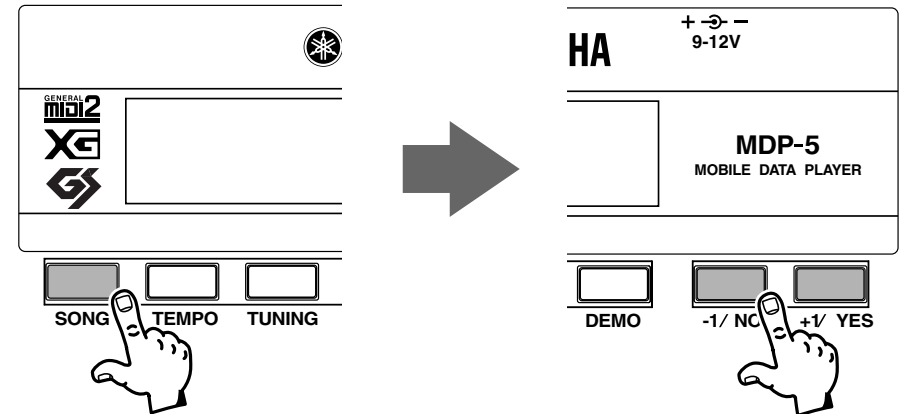
④ ノート ・ひとつのフォルダーに保存できる最大ファイル数は、100ファイルです。

メロディパートを演奏する

MDP-5の再生音を聞くためには、ヘッドフォンやアンプ内蔵スピーカーとの接続が必要です。接続方法は、本紙の「外部機器との接続」を参照してください。

7 ソングを選ぶ

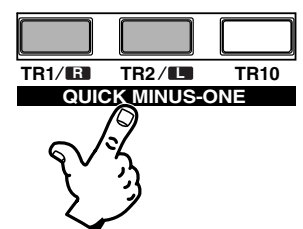
【ソング】を押してソング画面を表示させ、[-1/NO][+1/YES]を押してソングを選びます。



8 メロディパート(メインパート)を再生Offにする

【TR1/R】【TR2/L】のどちらか(または両方)を押してメロディパート(メインパート)を再生Offにします。

ボタンを押すごとに再生On/Offが切り替わります。再生をOffにすると画面下段に「Mute」、再生をOnにすると画面下段に「Play」が表示されます。



④ ノート 各トラックには、主に次のデータが入っています。
【TR1/R】(トラック1) …… メロディパートまたは右手パート
【TR2/L】(トラック2) …… サブメロディパートまたは左手パート
【TR10】(トラック10) …… リズムパート

9 ソングを再生する

【▶】を押してソングを再生します。ソングの伴奏に合わせて、メロディパートをお好きな楽器で演奏しましょう。



10 ソングの再生をストップする

【■】を押してソングの再生をストップします。ソングが最後まで再生された場合は、自動的にストップします。

